

高等学校 令和6年度（1 学年用）教科 アートクラフト 科目 AC I

教 科： アートクラフト 科 目： AC I

单位数： 2 单位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ A組：廣川 ） （ A組：小浦 ）

使用教科書：（ デザインの色彩

教科 アートクラフト の目標：

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 AC I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法、美術史の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する	各種材料及加工方法の適正を考える力を身につける。美術作品の観察を通して思考、表現力を身につける	素材や養いを大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義なアート思考や作品制作、仕事ができる

[illegible]

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1 学年用）教科

アートクラフト 科目 工業技術基礎

教科：アートクラフト 科目：工業技術基礎 単位数：4 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ A組：廣川 ） （ A組：氏家 ） （ A組：宇高 ）

使用教科書：（ 工業技術基礎 ）

教科 アートクラフト の目標：

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 工業技術基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効率の良い加工の順序を理解し、丁寧な加工をする	完成の図形に近づけられるように、適切な加工を続けられる	自分の作品を使う人の立場になって、丁寧な仕上げ加工ができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・鍛金 銅板による鍛金小鉢の制作をとおして、金属工芸関連の知識・技術を学ぶ。 ・鋳金 ブロンズ卓上ペルを制作し、ロストワックス、縄繰中子法の技法を学ぶ。 ・彫金 溶解した銀地金で擦り出し指輪と打出し作品を制作し、彫金技法を学ぶ。	・鍛金 締め鍔製作。小鉢本体の地金取り（金切鉄）、焼き鈍し、絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鍔製作、デザイン、地金計量、溶解。	【鍛金】金鍔を適切に上げられたか。効率よく絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鍔製作、擦り出しに適した図案、溶解が効率よく出来たか	○	○	○	17
		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・鋳金 蠟引き原型制作。 ・彫金 叩き締め、銀地金展延、成形、ロウ付け、擦り出し加工。	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】適切な蠟引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく出来たか	○	○	○	17
		・鍛金 蓋、内枠制作（金切鉄）、打出し（松脂）均し、はんだ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切除、鍔がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく丁寧に出来たか 【鋳金】ブロンズの鍔がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく出来たか	○	○	○	18
2 学 期	・鍛金 銅板による鍛金小鉢の制作をとおして、金属工芸関連の知識・技術を学ぶ。 ・鋳金 ブロンズ卓上ペルを制作し、ロストワックス、縄繰中子法の技法を学ぶ。 ・彫金 溶解した銀地金で擦り出し指輪と打出し作品を制作し、彫金技法を学ぶ。	・鍛金 締め鍔製作。小鉢本体の地金取り（金切鉄）、焼き鈍し、絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鍔製作、デザイン、地金計量、溶解。	【鍛金】金鍔を適切に上げられたか。効率よく絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鍔製作、擦り出しに適した図案、溶解が効率よく出来たか	○	○	○	17
		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・鋳金 蠟引き原型制作。 ・彫金 叩き締め、銀地金展延、成形、ロウ付け、擦り出し加工。	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】適切な蠟引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく出来たか	○	○	○	17
		・鍛金 蓋、内枠制作（金切鉄）、打出し（松脂）均し、はんだ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切除、鍔がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく丁寧に出来たか 【鋳金】ブロンズの鍔がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく出来たか	○	○	○	18
3 学 期	・鍛金 銅板による鍛金小鉢の制作をとおして、金属工芸関連の知識・技術を学ぶ。 ・鋳金 ブロンズ卓上ペルを制作し、ロストワックス、縄繰中子法の技法を学ぶ。 ・彫金 溶解した銀地金で擦り出し指輪と打出し作品を制作し、彫金技法を学ぶ。	・鍛金 締め鍔製作。小鉢本体の地金取り（金切鉄）、焼き鈍し、絞り ・鋳金 デザイン、製図、挽き板、鳥目箱製作。 ・彫金 おたふく鍔製作、デザイン、地金計量、溶解。	【鍛金】金鍔を適切に上げられたか。効率よく絞りが出来たか 【鋳金】鋳造に適した図案を考案し、効率よく鳥目箱を製作できたか。 【彫金】おたふく鍔製作、擦り出しに適した図案、溶解が効率よく出来たか	○	○	○	18
		・鍛金 小鉢本体の焼き鈍し、絞り。本体均し仕上げ。 ・鋳金 蠟引き原型制作。 ・彫金 叩き締め、銀地金展延、成形、ロウ付け、擦り出し加工。	【鍛金】効率よく絞れたか 【鋳金】適切な蠟引きが出来たか 【彫金】展延、ロウ付け、擦り出しを効率よく出来たか	○	○	○	17
		・鍛金 蓋、内枠制作（金切鉄）、打出し（松脂）均し、はんだ付け、仕上げ。 ・鋳金 ブロンズ鋳込み、湯道切除、鍔がけ、分銅、仕上げ。 ・彫金 擦り出し加工、打出し、ロウ付け、刻印、鏡面仕上げ加工。	【鍛金】打出し、均し、仕上げ加工を効率よく丁寧に出来たか 【鋳金】ブロンズの鍔がけと仕上げ加工を効率よく出来たか 【彫金】打出し、仕上げ加工を丁寧に効率よく出来たか	○	○	○	17
				○	○	○	合計 156

高等学校 令和6年度（1 学年用）教科 アートクラフト 科目 製図

单位数： 2 单位

教科担当者：（ A組：垣内 ）

)

【知識及び技能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通して造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につける

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・モノ作りに必要な製図の基礎を理解、製作にあたり図面化と変更点の適応性、図面における表記の理解と知識	・モノ作りに必要な製図の応用力を理解、製作にあたり図面化と変更点の適応性、図面における表記の理解と知識、先作者伝わる図面化、表現力（立体図への発展と表現の仕方）	・モノ作りに必要な向上心や制作するにあたり必要な心配り（面取りや表面粗さなど）使う手への配慮と工夫。

合計
78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 アートクラフト 科目 実習A

教 科： アートクラフト 科 目： 実習A 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組
教科担当者：（ A組：宇高 ） （ A組： 三宅 ）（ A組： 廣川 ）（A 組： 中村 ）
使用教科書：（ なし ）

教科 アートクラフト の目標：
【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。	寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。	貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【彫金】金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。 【鍛金】銅板で動物の変形絞り制作をさせる。 【鋳金】ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。 【ガラス】器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	16
				○	○	○	20
				○	○	○	20
2 学 期	【彫金】金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。 【鍛金】銅板で動物の変形絞り制作をさせる。 【鋳金】ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。 【ガラス】器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	20
				○	○	○	20
				○	○	○	16
3 学 期	【彫金】金属板や線材で植物の立体彫刻を制作させる。 【鍛金】銅板で動物の変形絞り制作をさせる。 【鋳金】ロストワックス技法によるスターリングシルバージュエリーを制作させる。 【ガラス】器の粘土原型と色ガラスを用いたパート・ド・ヴェール作品を制作させる。	彫金・鍛金・鋳造・ガラス技法	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。 【思考・判断・表現】寸法通りに打出しやロウ付けが出来る。変形絞りができる。精密鋳造の技法を理解し丁寧な素材加工ができる。ガラスの特性を理解し丁寧に制作できる。 【主体的に学習に取り組む態度】貴重な金属材料での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。	○	○	○	16
				○	○	○	20
				○	○	○	8
							合計
							156

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科 アートクラフト 科目 実習B

单位数： 2 单位

教科担当者：（ A組：廣川 ） （ A組：宇高 ） （ A組：氏家 ）

使用教科書：（ なし ）

【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 実習B の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
石留めとゴム型を丁寧に制作できる。正確な図形転写と色彩を再現できる。文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	ジュエリーの石留めとゴム型制作の技法を理解する。絵画の色彩と構成を理解する。装飾的な構成を学び、丁寧に制作を行う。	貴重な金属材料・宝石での制作の意義、歴史的名品の造形美、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石膏型・絵画模写・デザイン	【知識・技能】石膏型とゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	8
				○	○	○	9
				○	○	○	9
2 学期	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石膏型・絵画模写・デザイン	【知識・技能】石膏型とゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	9
				○	○	○	9
				○	○	○	9
3 学期	ワックスで原型を制作して、鋳造後仕上げる。図形を転写し、絵の具で色彩を再現させる。細密ペンを使用して、平面構成を行う。	石膏型・絵画模写・デザイン	【知識・技能】石膏型とゴム型を丁寧に制作できる。 【思考・判断・表現】正確な図形転写と色彩を再現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 文様の描き方を理解しイメージ通りの作品ができる。	○	○	○	8
				○	○	○	9
				○	○	○	8
							合計 78

高等学校 令和6年度（2学年用）教科		アートクラフト 科目 工業情報数理	
教科：アートクラフト	科目：工業情報数理	単位数：	2 単位 2
対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組			
教科担当者：（ A組：垣内 ） （ A組：三宅 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）			
使用教科書：（ 工業情報数理 実教出版 ）			
教科 アートクラフト		の目標：	
【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する			
【思考力、判断力、表現力等】各種材料及加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する			
【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる			
科目 工業情報数理		の目標：	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 WindowsとMac 【知識及び技能】 Windows・Macの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。 定期考査なし	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
		定期考査なし	定期考査なし				0
2 学期	A 単元 HP作成 【知識及び技能】 HP作成における基礎的な知識を理解し、実践することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 プログラムの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 ネット素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。 定期考査なし	・指導事項 個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と基本となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
		定期考査なし	定期考査なし				0
3 学期	A 単元 プレゼンテーション発表 【知識及び技能】 プレゼンテーション用ソフトウェアの特色と使い方の応用を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 より効果的なプレゼンテーションをするために、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 有意義で個性ある作品制作ができる。 定期考査なし	・指導事項 ログインアカウントやパスワードの重要性、個人データの扱いと著作権について。	【知識・技能】 各授業課題を使い、基礎的知識と応用となる技能を学ぶ。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な発表をおこなうことができる。				26
		定期考査なし	定期考査なし				合計 78

アートクラフト 科目 ACⅡ

单位数： 1 单位

教科担当者：（A 組： 中村 ）

)

【知識及び技能】彫金・鍛金・鑄造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 ACⅡ の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	美的象徴について	美的象徴の具体例を理解する。動植物について	【知識・技能】各種象徴の意味と特色を理解できたか 【思考・判断・表現】象徴の図像化の様式美を理解できたか	○	○	○	4
	美的象徴について	事物、ヴァニタスについて	【主體的に学習に取り組む態度】象徴を利用した作品制作が出来たか	○	○	○	5
	美的象徴について	西洋と東洋の比較		○	○	○	4
	美的象徴について	西洋と東洋の比較		○	○	○	4
2 学期	色彩学の応用	「デザインの色彩」を用いて色彩を理論的に理解する。補色・色相環の対比を理解する。	【知識・技能】1学年で学んだ色彩の基礎理論を発展させる。 【思考・判断・表現】空間構成において美的な表現力を獲得する。	○	○	○	6
	幾何形体の平面構成	黄金矩形、正方形画面の平面構成。	【主體的に学習に取り組む態度】構成を利用した制作ができたか	○	○	○	6
3 学期	花言葉と図像について	絵画を鑑賞して図像を理解する	【知識・技能】花言葉と図像を理解できたか 【思考・判断・表現】身の回りの象徴を意識することが出来たか	○	○	○	5
			【主體的に学習に取り組む態度】象徴を利用した作品制作が出来たか	○	○	○	5
							合計 39

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科

アートクラフト 科目 AD I

教科：アートクラフト 科目：AD I 単位数：2 単位 2

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ A組：三宅 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ なし ）

教科 アートクラフト の目標：
【 知 識 及 び 技 能 】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 AD I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三面図を展開した透視図法を理解し、自分で考えた作品を効果的にプレゼンテーションすることができる。	ユニバーサルデザインについて考え、効果的な狙いを表現することができる。 各自の考えたテーブルカッター等の製品デザインを図面及びレンダリングで表現できる。	全ての人に使いやすい商品や、環境を考えてデザインをすることにより、発想力を養い、有意義で個性ある作品制作ができる。制作において自身が考えた狙いを効果的に発表できるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 一点透視図法 【知識及び技能】 一点透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 一点透視図の表示法を学び、課題を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 一点透視図の表示法を学び、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	○	○	○	4
	B 単元 二点透視図 【知識及び技能】 二点透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 二点透視図の表示法を学び、課題を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 二点透視図の表示法を学び、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	○	○	○	6
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
	C 単元 円の透視図法 【知識及び技能】 円の透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 円の透視図の表示法を学び、課題を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 円の透視図の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	○	○	○	4
	D 単元 複雑な立体物な透視図法 【知識及び技能】 複雑な立体物の表示法を学び、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 複雑な立体物の表示法を学び、課題を作成する。 ・教材 プリント	【知識・技能】 複雑な立体物の表示法を学び、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 透視図法を理解し、図面上で正しく描き起こして表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 透視図を利用した課題制作が提出期限内に出来たか。	○	○	○	12
	定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
2 学 期	A 単元 トロフィーデザイン 【知識及び技能】 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物を製図することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 表彰されるということについて深く考え、自己の個性を発見することできる。また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物の透視図法を学び、課題を作成する。	【知識・技能】 トロフィーのデザインを考え、複雑な立体物を製図することができるか。 【思考・判断・表現】 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表彰されるということについて深く考え、自己の個性を発見することできるか。また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	10
	A 単元 トロフィーデザインプレゼン 【知識及び技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各自の考えたトロフィーデザインを透視図法及びレンダリングで表現できる。 デザインの狙いを生かした、効果的なプレゼン表現をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	・指導事項 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成する。	【知識・技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 各自の考えたトロフィーデザインを透視図法及びレンダリングで表現できるか。 デザインの狙いを生かした、効果的なプレゼン表現をすることができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 表彰されるということについて深く考え、自己の個性を発見することできるか。また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	10
	B 単元 ハイライトドローイング	・指導事項	【知識・技能】				

【知識及び技能】 ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 黒と白の色幅の中で効果的な表現をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。	ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成する。	ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成することができるか。 【思考・判断・表現】 ハイライトドローイング、ペンシルドローイングを理解し、課題を作成することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出期限内に計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	6
定期考査なし	定期考査なし	定期考査なし				0
A 単元 テープカットデザイン 【知識及び技能】 テープカッターのデザインを考え、複雑な立体物を製図することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的にデザインすることができる。	・指導事項 テープカッターのデザインを考え、複雑な立体物の透視図法を学び、課題を作成する。	A 単元 テープカットデザイン 【知識・技能】 テープカッターのデザインを考え、複雑な立体物を製図することができる。 【思考・判断・表現】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的にデザインすることができるか。				

3 学 期	効果的な狙いを表現することができる。 各自のテブカッターのデザインを考え、表現することができる。 各自で狙いを持ったトロフィーデザインを考え、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ユニバーサルデザインについても考え、多くの人の視点から考えることで、豊かな人間性を養うことができる。また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。						12
	B 単元 テブカッターデザインプレゼン 【知識及び技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的な狙いを表現することができる。 各自の考えたテブカッター等の製品デザインを図面及びレンダリングで表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 多くの人の視点から考えることで、豊かな人間性を養うことができる。	・指導事項 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成する。	B 単元 テブカッターデザインプレゼン 【知識・技能】 自作した製品をプレゼンする方法を理解し、課題を作成することができる。 【思考・判断・表現】 ユニバーサルデザインについて考え、効果的な狙いを表現することができる。 各自の考えたテブカッター等の製品デザインを図面及びレンダリングで表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多くの人の視点から考えることで、豊かな人間性を養うことができる。また、提出期限内に計画的に課題制作を行うことができる。				14
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科

教科： アートクラフト 科 目： デッサンⅠ

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（A組：大野 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 アートクラフト の目標：
【知 識 及 び 技 能】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 デッサンⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像（胸像）	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
2 学 期	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	14
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	16
3 学 期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（2 学年用） 教科

アートクラフト 科目 造形

教科： アートクラフト 科目： 造形

単位数： 2 単位 2

対象学年組： 第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者： （A組：三宅 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ ）

- 教科 アートクラフト の目標：
- 【 知 識 及 び 技 能 】彫金・鍛金・鋳造の金属工芸技法の基礎を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】各種材料及加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢とより自分らしい造形力を養い、世に有意義な作品制作や仕事ができる

科目 造形 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
粘土や紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた人体や物の構造を意識しながら、造形することができる。	モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。	対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A プランソワボンボンから学ぶ造形【張り子】 【知識及び技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた動物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。	造形に関しての美術史。 しっかりとした心棒のつくりかたについて。 油粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 心棒や粘土、紙などの素材の扱いに慣れると共に、美術史に裏付けされた動物の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	20
	B 塑像【種子の土鈴】 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関しての美術史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた植物の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	6
2 学 期	A 塑像【仏様の手】 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	造形に関しての日本における美術史。 焼成粘土のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	18
	B クリストから学ぶ造形の側面 【知識及び技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの造形の歴史を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、造形の持つ意味性を考えることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	現代アートに関しての造形史。	【知識・技能】 美術作品について学ぶと共に、現代アートの造形の歴史を学ぶことができたか。 【思考・判断・表現】 モチーフの象徴性を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、造形の持つ意味性を考えることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	8
3 学 期	A カメオ【額】 【知識及び技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	象徴彫刻に関しての美術史。 ピューターのとり扱いについて	【知識・技能】 素材の扱いに慣れると共に、象徴に裏付けされた装飾彫刻を造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	12
	B カメオ【自刻像】 【知識及び技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	象徴彫刻に関しての美術史。 油粘土と型取り、石膏のとり扱いについて	【知識・技能】 粘土の素材の扱いや特性に慣れると共に、美術史に裏付けされた人体の構造を意識しながら、造形することができるか。 【思考・判断・表現】 モチーフの印象を理解し、立体表現をするにあたっての方法を選択し、表現することができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 対象物を表現するために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができるか。計画的に課題制作を行うことができるか。	○	○	○	14
						合計	78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 鍛金

教科：アートクラフト 科目：鍛金

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：垣内）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 鍛金 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
単純な形の成形をイメージとおりに行う。	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗 い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い 制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧 に制作することができたか	○	○	○	8
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	10
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	10
	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・ 均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	8
2 学 期	本体の地金取り・焼きなまし・酸洗 い・絞り・均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い 制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧 に制作することができたか	○	○	○	12
	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	12
3 学 期	焼きなまし・酸洗い・絞り・均しの 指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作	【知識・技能】単純な形の成形をイメージと おりにできたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正 を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い 制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧 に制作することができたか	○	○	○	10
	取手の焼きなまし・酸洗い・絞り・ 均しの指導をする。	鍛金 銅製片手鍋の製作		○	○	○	8
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AC研究

教科：アートクラフト 科目：AC研究

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：中根）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AC研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的なとんぼ玉の制作技法を習得する。	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	理型材、ガラス融解用具の扱い方を学ぶ	トンボ玉	【知識・技能】基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	8
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	10
	基本的な玉の作り方を学ぶ	トンボ玉		○	○	○	8
2 学期	レース玉を作るなど技法の展開を図る	トンボ玉	【知識・技能】基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	12
	レース玉を作るなど技法の展開を図る	トンボ玉		○	○	○	12
3 学期	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	トンボ玉	【知識・技能】基本的なとんぼ玉の制作技法を習得できたか 【思考・判断・表現】材料と加工方法の適正を考え試行錯誤し、個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】効率の良い制作手順を意識して、計画的に粘り強く丁寧に制作することができたか	○	○	○	10
	動物などパーツが多く難易度の高い技法を習得する	トンボ玉		○	○	○	8
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 光造形

教科：アートクラフト 科目：光造形

単位数：2 単位 2

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：垣内）（A組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 アートクラフト の目標：

- 【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 光造形 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
CGソフト、造形機の使い方や取り扱いを学習する。	ジュエリーのデザイン力を高める。デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を高める。	学んだ技法で作品制作をする。CADの特性を生かした造型感覚を習得する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ソフトの操作方法を習得させる。デザイン画製作。CADの特性を理解させる。3Dデザインソフトの使い方CADの特性を生かしたジュエリーを制作させる。	コンピュータの使い方 CGソフトの使い方 CGにおけるジュエリーデザインについて	【知識及び技能】CGソフト、造形機の使い方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】個性的なジュエリーのデザインが出来る。デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ技法で作品制作ができる。CADの特性を生かした造型感覚を習得する。	○	○	○	26
2 学期	光造形ソフトの使い方と理解。光造形機データに変換処理。光造型機による原型制作と鋳造石膏鋳造、ロストワックス、表面処理法など。	造形加工について 表面処理について	【知識及び技能】CGソフト、造形機の使い方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】個性的なジュエリーのデザインが出来る。デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ技法で作品制作ができる。CADの特性を生かした造型感覚を習得する。	○	○	○	26
3 学期	研磨、仕上げ加工を行う。	研磨、仕上げ加工を行う。	【知識及び技能】CGソフト、造形機の使い方や取り扱いが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】個性的なジュエリーのデザインが出来る。デザイン、造形、加工と実際の作業工程を学び、知識を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ技法で作品制作ができる。CADの特性を生かした造型感覚を習得する。				26
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AcⅡ

教科：アートクラフト 科目：AcⅡ

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：三宅）（A組：垣内）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AcⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
宝石の基礎知識を学ぶ	個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	彩色表現	宝石の基礎知識	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	8
	ダイヤモンドの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	10
	パール・ベリルの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	10
	フェルドスパーの基礎知識	宝石の基礎知識		○	○	○	8
2 学 期	展開図を応用したパッケージ 宝石の基礎知識について調べる	宝石調べ学習	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	12
	平面から立体を想像し展開図へ 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	宝石調べ学習		○	○	○	12
3 学 期	展開図の製図・組み立て・着色 アンティークジュエリーについて調べる	アンティークジュエリー調べ学習	【知識・技能】宝石の特色を理解できたか 【思考・判断・表現】表現方法を模索し、丁寧な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】グループ作業で個々の考えを構築できたか	○	○	○	10
	展開図の製図・組み立て・着色。 作品の意味合いを探究する 調べた内容を模造紙にまとめ、プレゼン	アンティークジュエリー調べ学習		○	○	○	8
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 プレゼン

教科：アートクラフト 科目：プレゼン

単位数：2 単位 2

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：喜多崎）（A組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 アートクラフト の目標：

- 【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
- 【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
- 【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 プレゼン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
写真編集・ページレイアウトソフトの使い方を理解し、使用することができる。	進路先に適したポートフォリオを制作することができる。 表現の試行錯誤をすることができる。 学んだ知識を基にして、応用できる力を身につけ実践することができる。	課題や作業を通して、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個性的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ポートフォリオを制作する コンセプト、ページ校正を考えさせる 作品の写真撮影、ライティング 編集・校正	映像機器の使い方と注意事項 作品の写真撮影、ライティング 編集・校正	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進路先に適した内容での表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	○	○	○	26
2 学期	校正内容の確認 ターゲット、ページ数、コンセプト	アートクラフト科のパンフレットを制作する	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分かり易い内容での表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	○	○	○	26
3 学期	作品の写真撮影と紙面編集	アートクラフト科のパンフレットを制作する	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 分かり易い内容での表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。				26
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 AD

教科：アートクラフト 科目：AD

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：三宅）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 AD の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
金属加工に適した構成や色彩の基礎理論を理解し、図案を制作出来る	各種材料と加工方法の適正を考え、個性的な意匠を試行錯誤出来る力を身につける	粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な文様作成ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	8
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）		○	○	○	10
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）		○	○	○	10
	唐草文様の意匠を作成させる	唐草文様の構成演習（図案・蓋制作）		○	○	○	8
2 学 期	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	12
	コインデザインの意匠を作成させる	コインデザインの図案制作		○	○	○	12
3 学 期	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	立体構成	【知識・技能】文様の装飾性を理解できたか 【思考・判断・表現】個性的な制作ができたか 【主体的に学習に取り組む態度】主題に即した図案のために何が必要かを考え、丁寧に工程を積み重ねることができる。計画的に課題制作を行うことができる。	○	○	○	10
	色彩についての理解を深め、質感表現と平面上での立体表現を学ばせる。	立体構成		○	○	○	8
							合計 78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 課題研究

教科：アートクラフト 科目：課題研究

単位数：5 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：廣川）（A組：宇高）（A組：神山）（A組：氏家）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 課題研究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解し、美しい作品を制作出来る。	モチーフらしい形体感を表現出来る。鉄の特性を生かした加工が出来る。七宝技法を理解し丁寧な加工ができる。図面を基に丁寧に制作できる。	貴重な素材での制作の意義と歴史的な名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「鑄造」鑄造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鑄造」蠟型鑄造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鑄造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
2 学 期	「鑄造」鑄造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鑄造」蠟型鑄造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鑄造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
3 学 期	「鑄造」鑄造に適した美しい造形を制作する 「彫金」無理のない彫金技法で制作する 「鍛金」効率の良い絞り加工や溶接で制作する 「ジュエリー」細密で丁寧に制作する	「鑄造」蠟型鑄造原型、仕上げ 「彫金」打出し、ロウ付け立体構成 「鍛金」銅板絞り加工、溶接作品制作 「ジュエリー」精密鑄造原型、仕上げ加工	【知識・技能】制作の為に資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】各素材の特性を生かした加工が出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	3
							合計
							195

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 実習A

教科：アートクラフト 科目：実習A

単位数：5 単位

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：大野）（A組：垣内）（A組：吉田）（A組：三宅）

使用教科書：（なし）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 実習A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来る。	モチーフらしい形体感を表現出来る。鉄の特性を生かした加工が出来る。七宝技法を理解し丁寧な加工ができる。図面を基に丁寧に制作できる。	貴重な素材での制作の意義と歴史的名品の造形美を踏まえ、粘り強く丁寧に制作することの大切さを理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓裝飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝裝飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
2 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓裝飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝裝飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	24
3 学 期	「デッサン」芸大、美大合格水準のデッサン力を身につける。 「鍛鉄」鉄の素材を生かした加工法を身につける 「七宝」有線七宝の基本技術の修得が成され、鑑賞に耐える高度な作品制作をする。 「テープカッター」デザインに応じた適切な方法で完成させる。	「デッサン」石膏・静物鉛筆デッサン 「鍛鉄」椅子、机、窓裝飾等の実用品の制作 「七宝」有線七宝裝飾板の制作 「テープカッター」2年次設計のテープカッター製作	【知識・技能】制作の為の資料収集と各素材の加工法を理解して、美しい作品を制作出来たか。 【思考・判断・表現】モチーフらしい形体感を表現出来たか。鉄の特性を生かした加工が出来たか。七宝技法を理解し丁寧な加工が出来たか。図面を基に丁寧に制作出来たか。 【主体的に学習に取り組む態度】無駄のない材料の活用を考え粘り強く丁寧に制作することが出来たか。	○	○	○	24
				○	○	○	24
				○	○	○	3
				○	○	○	合計 195

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科

アートクラフト 科目 映像

教科：アートクラフト 科目：映像

単位数：2 単位 2

対象学年組：第3学年 A組～組

教科担当者：（A組：廣川）（A組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（）

教科 アートクラフト の目標：

【知識及び技能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する

【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する

【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 映像 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビデオカメラ、映像編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。	各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をすることができる。 学んだ知識を基にして、応用できる力を身につけ実践することができる。	課題や作業を通して、より自分らしい発想力を養うことによって、主体的で個性的かつ効果的な学びを得ることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	映像機器の使用方法を理解する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	映像機器の使い方と注意事項	【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	○	○	○	26
2 学期	アニメーションを制作する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	アニメーション制作	【知識・技能】 基礎的知識と技能を学ぶことができる。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な学びをおこなうことができる。	○	○	○	26
3 学期	自由作品を制作する 【知識及び技能】 カメラ、編集ソフトの特色と使い方の基礎を理解し、使用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各種ソフトウェアの適正を考え、表現の試行錯誤をし、応用出来る力を身につけ実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 素材について、著作権を理解し、有意義で個性ある作品制作ができる。	自由制作	【知識・技能】 基礎的知識と技能を学ぶことができる。 【思考・判断・表現】 演習を通して試行錯誤をし、判断したことを表現する力につなげることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や発表の機会を通じて、個性ある作品制作ができる。より効果的かつ多面的に自己の特徴を発見し、自主的な発表をおこなうことができる。				26
							合計
							78

年間授業計画

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 アートクラフト 科目 デッサンⅡ
教 科： アートクラフト 科 目： デッサンⅡ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組
教科担当者：（A組：大野 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書：（ ）

教科 アートクラフト の目標：
【知 識 及 び 技 能】金属工芸技法を理解し、実材実習での制作を通してさらに造形美を探究する
【思考力、判断力、表現力等】各種材料と加工方法の適正を考え、完成に向けた試行錯誤が出来る力を身につけ実践する
【学びに向かう力、人間性等】素材を大切に扱う姿勢と個性的な造形力を養い、世に有意義な制作や活動ができる能力を身につける

科目 デッサンⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する	短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る	形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	木炭デッサンの描き方を理解し対象物を立体表現する 石膏像（胸像）	木炭紙と木炭の芯抜きの基本 立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
2 学 期	石膏像（胸像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	14
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	16
3 学 期	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方	【知識・技能】画材の扱いに慣れ、人体や物の構造を意識する 【思考・判断・表現】短時間でモチーフの印象を踏まえて立体表現が出来る 【主体的に学習に取り組む態度】形に添った表現を丁寧に積み重ねて対象物を理解する	○	○	○	12
	ベルヴェデーレ、ミロのヴィーナス（石膏全身像）	立体表現の為の稜線の描き方		○	○	○	12
							合計 78